

広報

えびの

6

広報えびの6月号
2009 June
No.512
平成21年6月20日発行

幸せ願う子どもたち。

幸福の鐘

列車やお客さまの安全と幸福を祈り、乗務員や保線員が鳴らした鐘をあなたもどうぞ。

P2 ~ P3

風水害への備えは 大丈夫ですか？

〈表紙写真〉真幸駅の「幸福の鐘」を鳴らして幸せを願う真幸小学校の児童たち（関連記事＝15ページ）。

広報えびのはホームページでもご覧になれます。
<http://www.city.ebino.lg.jp/>

風水害(豪雨)時の屋内避難所

地区	避難場所	電話番号
飯野地区	飯野中学校体育館	33 - 0021
	飯野小学校体育館	33 - 0008
	大河平小学校	33 - 0970
	高野畜産管理センター	33 - 1990
	えびの市民体育館	33 - 5332
	飯野駅前地区体育館	33 - 5035
上江地区	えびの市文化センター	35 - 2268
	上江中学校体育館	33 - 0315
	上江小学校体育館	33 - 0133
	上江地区体育館	33 - 5799
加久藤地区	加久藤中学校体育館	35 - 1353
	加久藤小学校体育館	35 - 1351
	加久藤小学校尾八重野分校体育館	35 - 1995
	加久藤地区体育館	35 - 2290
	えびの市国際交流センター	35 - 3211
真幸地区	岡元小学校体育館	37 - 2240
	真幸地区体育館	37 - 0004
	老人福祉センター	37 - 1329
	◎真幸地区公民館	

◎は、災害等の状況によって開設する場合があります。

元自衛官に 防災相談員を委嘱



災害発生時におけるえびの市災害対策本部の運営支援のため、養手裕宏さん、江頭武司さん、橋本文寛さんの三人に、えびの市防災相談員を委嘱しました。今回委嘱された三人の方は自衛隊退官者で、防災に関する知識も豊富。その専門知識を生かして、災害発生時の支援や助言などを行い、市が行う各種防災訓練などにも参加します。任期は2年です。今回委嘱を受けた養手裕宏さんは「まずは地域や組織を勉強し、できる限りのお手伝いできればと思います。災害がないことを祈っています」と話していました。

から防災無線や広報車等を使って避難勧告や避難指示が出されます。このような情報が出された時は、速やかに避難してください。避難する際は、単独行動ではなく、家族や近所、地域で避難してください。「これくらいならまだ大丈夫」という自己判断はせず、結果的に「避難しなくてもよかった」ということになつたとしても、早めの避難を心がけてください。また、市からの避難指示や避難勧告が出されていない場合、「危険だな」と思つたら、速やかに自主避難をしてください。■避難準備情報||避難準備情報は、人的被害の発生恐れ

がある場合に発令されます。障がい者や高齢者の方など、避難の際に援護が必要で避難に時間を要する方は、速やかに避難行動を始めてください。■避難勧告||避難勧告は、市から市民の皆さんに避難をお願いするものです。その地域や土地、建物などに災害が発生する恐れがある場合に発令されます。市民の皆さんは速やかに避難してください。■避難指示||避難指示は、市から市民の皆さんに避難を命令するものです。避難勧告時よりもさらに状況が悪化し、避難すべき時期が切迫した場合、または災害が発生し、まだ避難していない方がいる場

合に発令されます。避難中の方やまだ避難していない方は、速やかに避難を完了させてください。**防災は地域で**
災害発生時に心強いのが、顔見知りの近所や地域の方々です。普段から、地域のつながりを大切にしておけば、万が一あなたに何かあった時にいざという時に助けてくれるのではないのでしょうか。地域で防災意識を高め、災害に備えましょう。■お問い合わせ先
市総務課防災対策係
☎0984・35・1111
(内線313・316)



これからの季節に心強い味方
**河川遠隔監視システムを
導入しました**

市では、このほど、「河川遠隔監視システム」を導入しました。これは、真幸橋や向江水門など、川内川流域の7か所に設置されたカメラの映像を、リアルタイムで見ることができるといシステムです。市役所本庁で川内川の水位などを瞬時に確認することができます。総事業費412万7千円(国からの交付金324万8千円)をかけて整備。市ではこの情報(カメラからの映像)を活用して、より迅速で的確な災害対策を講じていきます。



上の写真3枚は平成18年7月に発生した豪雨災害。

風水害への備えは 大丈夫ですか？

気象庁は6月9日、九州南部地方が梅雨入りしたとみられると発表しました。今年も梅雨の時期となり、いつ集中豪雨や台風が発生してもおかしくありません。皆さんは覚えているでしょうか。平成18年7月に発生した集中豪雨による災害。私たちは、この災害をいつまでも忘れることなく、この教訓を生かしていかなければなりません。では、このような災害が予想された時や発生した時、私たちはどのような行動をとるべきなのでしょう。

早めの情報収集を

風水害は、事前にある程度の情報を知ることができません。大雨が予想される時、台風が接近しそうな時、まず大切なのは早めの情報収集。テレビやラジオ、インターネットを活用して、早めの情報収集を行いましょう。また、収集した情報に基づいて、避難場所や避難経路を確認したり、非常持ち出し品を確認したりするなど、早めの避難準備も不可欠です。

迅速で安全な避難を

危険が近づいている時、市

水道事業と病院事業の財政状況を公表します

えびの市の公営企業（水道事業・病院事業）の財政状況については、毎年6月と11月に公表しています。今回は、平成20年10月1日から平成21年3月31日まで（平成20年度下半期）の予算の収入と支出の状況についてお知らせします。

水道事業

.....Data.....

◎水道業務量

平成20年10月1日～平成21年3月31日

[給水戸数] 8,621戸
[給水人口] 20,188人
[下半期給水量] 1,002,435m³
[1日平均給水量] 5,508m³
[1人1日平均給水量] 272.8ℓ
[普及率] 80.8%

◎借入金残高

8億4,316万円

■お問い合わせ先

えびの市水道課経営管理係
☎ 0984 - 35 - 1111(内線 291)

【事業収入に関する事項】

単位：円

区分	予算額	執行額		収入率%
		下半期	累計	
水道事業収益	392,111,000	193,874,856	391,141,640	99.8
営業収益	390,278,000	193,582,571	388,813,284	99.6
営業外収益	1,739,000	235,695	2,213,281	127.3
特別利益	94,000	56,590	115,075	122.4

※収入の営業収益は、水道料金や手数料、水道加入金など。営業外収益は量水器評価額など。

【事業費用に関する事項】

単位：円

区分	予算額	執行額		支出率%
		下半期	累計	
水道事業費用	316,091,000	174,378,518	312,158,557	98.8
営業費用	273,703,000	150,000,018	271,014,606	99.0
営業外費用	41,645,000	24,140,831	40,902,782	98.2
特別損失	243,000	237,669	241,169	99.2
予備費	500,000	0	0	0.0

※支出の営業費用は、浄水費、配水費、給水費、減価償却費など。営業外費用は、企業債の償還利息。

病院事業

.....Data.....

◎病院業務量

平成20年10月1日～平成21年3月31日

[病床数] 50床
[患者数(入院)] 7,411人
[患者数(外来)] 22,045人
[1日平均入院患者数] 40.7人
[1日平均外来患者数(土曜含)] 154.2人
[1日平均外来患者数(土曜除)] 183.7人

◎借入金残高

5,773万円

■お問い合わせ先

えびの市立病院
☎ 0984 - 33 - 1023

【事業収入に関する事項】

単位：円

区分	予算額	執行額		収入率%
		下半期	累計	
病院事業収益	989,316,000	485,438,360	1,007,087,670	101.8
医業収益	949,270,000	478,007,218	966,222,794	101.8
医業外収益	40,045,000	7,431,142	40,864,876	102.1
特別利益	1,000	0	0	0.0

※収入の医業収益は、入院収益、外来収益など。医業外収益は、一般会計補助金など。

【事業費用に関する事項】

単位：円

区分	予算額	執行額		支出率%
		下半期	累計	
病院事業費用	967,586,000	520,682,557	976,190,449	100.9
医業費用	963,898,000	493,378,272	947,440,444	98.3
医業外費用	2,934,000	26,760,442	28,206,162	961.4
特別損失	554,000	543,843	543,843	98.2
予備費	200,000	0	0	0.0

※支出の医業費用は、給与費、診療材料費、電気代などの経費、研究研修費など。医業外費用は、企業債の償還利息など。
※医業外費用には、現金支出を伴わない消費税計算による雑支出を含む。

情報公開制度および個人情報保護制度の運用状況を公表します

情報公開条例および個人情報保護条例に基づき、市は、毎年その運用状況を公表することとしています。今号では、平成20年度の運用状況を下記のとおり公表します。

* 公文書公開の実施状況 *

請求件数	全部公開	一部公開	非公開	不服申立て
10件	6件	3件	1件	0件

表中の「一部公開」については、公にすることにより、特定の個人や法人等の権利、利益を害すると認められる情報や、公にすることにより、事務や事業の適正な遂行に支障を及ぼすと認められる情報に該当するとして一部が非公開とされたものです。表中の「非公開」については、「該当する公文書が存在しない」ものです。

* 会議の公開の運営状況 *

市では、情報公開条例に基づき、審議会等の会議を公開しています。これは、市のさまざまな計画や施策の決定過程を広く市民の皆さんに公開することにより、市政に対する市民の権利の確保に努め、市民の理解を深めてもらい、開かれた市政の実現を図るために行っているものです。

	平成20年度	平成19年度
会議の開催回数 (a)	114回	130回
公開された会議の回数 (b)	94回	96回
非公開とされた会議の回数	20回	34回
傍聴者数 (合計)	7人	5人
公開率 (b/a)	82.46%	73.85%

《昨年度との比較》

公開された会議の回数は2回減、非公開とされた会議の回数は14回減となり、公開率では8.6ポイント上がりました。非公開（一部公開を含む）とされた会議は、個人情報に関する部分や、審査・評価に関する事項についてのみ非公開としたものと事前公表を行わなかった会議です。

* 個人情報保護制度の運用状況 *

開示請求	訂正等請求	不服申立て	個人情報取扱事務登録件数 (平成21年4月1日現在)
0件	0件	0件	251件

表中の「個人情報取扱事務登録件数」とは、市の事務のうち、個人情報を収集・管理・利用・提供する事務について、個人情報取扱事務目録に登録している事務の件数をいいます。内訳は、市長部局158件、教育委員会53件、農業委員会17件、選挙管理委員会15件、議会3件、監査委員2件、固定資産評価審査委員会2件、公平委員会1件となっています。

■お問い合わせ先
えびの市総務課行政係
(内線 311・314)

01

えびの市中心のふるさと寄附金に2,725,000円 温かいご支援に感謝します



あなたの心に輝き続けるふるさとを目指します。

昨年創設された「えびの市中心のふるさと寄附金」。これは、えびのの豊かな地域資源を次世代に引き継ぐとともに、ふるさとへの思いやえびのの発展を願う人々の思いを寄附を通じて多様な人々の参画によるふるさとづくりを推進しようというものです。

創設以来、下表のとおり21人の方から合計2,725,000円の寄附をいただきました(平成21年3月31日現在)。いただきました寄附金は、「えびの市中心のふるさと基金」として積み立て、地域福祉の充実や自然環境の保全、伝統文化の保存などの事業に活用します。なお、基金からの平成21年度事業への繰入状況は次のとおりです。

【えびの市中心のふるさと寄附金の寄附状況】

事業の種類	件数	金額
①地域福祉の充実など	4	365,000円
②自然環境の保全など	2	250,000円
③伝統文化の保存など	1	3,000円
④その他市長が必要と認める事業	14	2,107,000円
合計	21	2,725,000円

【えびの市中心のふるさと基金の積立状況】

区分	平成20年度末残高	前年度末残高
積立金	2,725,000円	0円

■お問い合わせ先
市企画課計画係 (内線 321・322)

02

高原町で第4回環霧島会議を開催 県境を越えた広域連携進む



熱い意見が飛び交ったパネルディスカッション。

霧島連山を囲む7市町で構成する「環霧島会議」の第4回目の会合が、5月19日、高原町総合保健福祉センターほえみ館で行われました。

午前中は、平成20年度事業報告や平成21年度予算審議の後、鹿児島大学法文学部教授の原口泉氏に「環霧島大使」の委嘱状が交付されました。また、環霧島会議防災相互協定の締結式も行われました。この協定は、火山噴火や地震などの大規模災害時に、被災

した市町単独では十分な応急対策や復旧が困難な場合に、環霧島会議構成市町が連携して応援していこうというものです。主な項目は、災害救援、復旧などに必要な職員の派遣や車両と資機材の提供、食料品、飲料水、生活必需品の提供やボランティア団体の受付、活動調整などです。

■お問い合わせ先
市企画課計画係 (内線 321・322)

03

水田を利用した作物発掘プロジェクト 農家の所得向上を目指して



「水田を利用した作物発掘プロジェクトに関する答申書」を、市長とJA組合長に提出する委員(左)。

えびの市は、昭和62年以降100億円以上の予算をかけてほ場整備を行い、基盤の整備を行ってきました。しかし、高齢化の進行や農業後継者の減少などで、転作田が有効に活用されていない状況です。

そこで、昨年10月に関係機関・関係団体および生産者代表者が委員となって「水田を利用した作物発掘プロジェクト」を発足。水田を有効に活用した水稲以外の転作物や裏作の振興を図るために、協議を重ねてきました。また、「水田を利用した作物発掘プロジェクト設置要領」を制定し、水田を利用した特産品の開発および販売に関する事項を検討しました。適地適作であるか、所得の確保ができるか、遊休農地の解消につながるか、高齢者も取り組める品目かなどに主眼を置きながら協議してきた結果、重点振興品として6品目、新規振興品として5品目を次のとおり選定しました。

◎重点振興品目①サトイモ、ホウレンソウ、カボチャ、甘藷(赤)、栗、ソバ
◎新規振興品目①タマネギ、白菜、エダマメ、アワ、飼料米
今後、これらの重点振興品目、新規振興品目で転作田の有効活用、農家所得の向上を市、JAが一体となって支援していきます。これらの品目の作付けを希望される方は、市畜産農林課農産園芸係またはJAえびの市園芸課・農産課までご連絡ください。

■お問い合わせ先
市畜産農林課農産園芸係 (内線 223・226)

04

えびの市一貫教育の充実を目指して 5部会45人に委嘱状交付



萩原教育長から委嘱状の交付を受ける皆さん。

平成21年度えびの市一貫教育に係る各部会及び教育研究センター等の委嘱状交付式が、5月21日、市文化センターで行われました。これは、今年度から本格的に始まったえびの市一貫教育の充実を図っていくため、また、一貫教育をあらゆる分野から研究、検証していくために委嘱したものです。

今回委嘱を受けたのは、カリキュラム検討委員会、えびの学部会、英会話科・英語表

現科部会、市教育研究センター、社会科副読本編集委員の5部会45人の方々です。今後、小中学校9年間を見通した一貫教育の検証・定着、一貫性・連続性の学習指導方法の研究、一貫性のある教材の検証・開発などに取り組みます。式で萩原和範教育長は、「本年度から市全体で一貫教育に取り組んでいます。部員の皆さんが研究したことを、各学校でも徹底して普及していただきたい」と呼びかけました。

■お問い合わせ先
市学校教育課 (内線 412・414)

07

県職員4人に併任辞令を交付 収納対策で県と協力します



併任辞令交付式。

平成21年6月から、県と市が協力して、税の収納対策に取り組むことになりました。今回取り組むことになった「併任人事交流制度」は、県職員が、えびの市から併任辞令の発令を受け、県と市の徴収事務に従事するものです。国の税源が地方に移譲されたことに伴い、市や県では自主財源の確実な確保のために、これまで以上に税の収納対策に取り組む必要があります。併任人事交流制度では、県と

市の税務職員が協力して、差押等の滞納処分を進めていきます。この過程で、県職員と市職員相互の徴収技術の向上を図り、税の収納率の向上と税収の確保を目指します。6月8日、市役所で県職員4人に、併任辞令が交付されました。市長は「とても頼もしく思います。市の職員に対し、いろいろとご指導いただきたい」とあいさつしました。市税の収納率は、平成19年度決算(現年課税分)で96・

56%、国民健康保険税は91・38%と、県内でも極めて低い値です。滞納額(現年課税分と滞納繰越額の合計)は、市税で約2億2千300万円、国民健康保険税で約2億3千900万円にも上ります。税の滞納解消は、きちんと納税している市民との公正・公平性を確保するうえで、何よりも大切なことです。市では県と協力し、より厳しい姿勢で滞納の解消に努めます。

■お問い合わせ先
市税務課収納対策室(内線213・216)

06

西諸県地区公民館実践研究セミナーを開催 自治公民館のあり方を探る



自治公民館のあり方について講演する押川勝さん。

西諸県地区公民館実践研究セミナーが、5月28日、市文化センターで行われました。これは、地域の課題解決に関する研修を行うことで、各地域における実践的な公民館活動を支援し、自治公民館のあり方についての理解を深めてもらうと行われたものです。セミナーには、西諸地区の自治公民館長など、190人が参加しました。まず、下大河平自治公民館

河平地区における公民館活動について」と題して、事例発表を行いました。池田さんは、「下大河平地区は、15歳以下の子どもたちが地区の総人口の4%に過ぎず、少子・高齢化が大変進んでいます。将来どうなることか心配する部分もありますが、今取り組んでいるさまざまな事業を通して、さらに住民同士のきずなを高め、自立できる地域を目指していきたいと思っています」と話していました。

その後、綾町西中坪自治公民館長の押川勝さんが「自治意識を高め、親子三代で取り組む、公民館活動」と題して講演を行いました。押川さんは「最近では自治意識が欠けていると思うことがよくあります。みんなが集って何かをやるといことが地域のつながりではないでしょうか。つながりを持つという意識が大切です。これが自治意識の向上につながるのだと思います」と話していました。

■お問い合わせ先
市社会教育課(☎ 0984-35-2268)

05

平成21年度から新たに人間ドックを実施 国民健康保険人間ドックのお知らせ

人間ドックでの検査項目

身体計測	身長	尿検査	尿糖
	体重		尿たん白
	BMI		尿潜血
血圧	腹囲	貧血検査	ヘマトクリット値
	収縮期血圧		血色素
血液検査	拡張期血圧	赤血球	
	中性脂肪	心電図	
	HDL-コレステロール	◎胸部レントゲン	
	LDL-コレステロール	◎胃透視または胃カメラ	
	AST(GOT)	◎便潜血	
	ALT(GPT)	※◎印がついている検査以外は、特定健康診査と同じ項目です。	
	γ-GT(γ-GTP)		
	クレアチニン		
	尿酸		
	空腹時血糖		
	ヘモグロビンA1c		



人間ドックを希望される方は早めに申し込みください。

市では、平成21年度から国民健康保険加入者(35歳から74歳までの方)で希望の方を対象に、健康診査(人間ドック)を実施します。受診を希望される方は、市健康保険課医療係の窓口で申し込んでください。ただし、国民健康保険税を納期までに全額納付している方に限ります。

は、特定健康診査か人間ドックのどちらか一方の受診となります。人間ドックを希望される方は「特定健康診査受診券(黄色の用紙)」と引き換えになりますので、必ず持参してください。また、人間ドックは人数に限りがあります。先着順とさせていただきますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

◎申込期間 平成21年6月22日(月)～平成21年12月28日(月)
◎受診期間 平成21年6月(日)～平成22年1月31日(日)
◎申込み先 市健康保険課医療係の窓口
☎ 0984-35-1111(内線273)
◎自己負担費用 5,299円(受診費用30,299円-補助額25,000円)
◎検査項目と受診できる医療機関 左表のとおり

受診できる医療機関

医療機関名	電話番号
えびの市立病院	0984-33-1023
松村胃腸科クリニック	0984-33-3939
えびのセントロクリニック	0984-33-5777
えびの第一クリニック	0984-33-0148
若葉クリニック	0984-33-3838
迫田内科	0984-35-1121
前田医院	0984-35-1151
京町共立病院	0984-37-1011
渡辺医院	0984-37-1109

※健診申込み後、必ず医療機関に事前予約をお願いします。

■お問い合わせ先
市健康保険課医療係(内線273)



男の腕まくり料理教室で楽しそうに料理を教える迫田さん(左)。

迫田 昭子さん

食を通して健康の大切さを多くの人に伝えていきたい

Akiko Sakoda

さこだ・あきこ / 70歳 / 町区 / 平成18年4月からえびの市食生活改善推進協議会の会長を務める。趣味は料理のほか、手芸、パッチワーク、大正琴。

「子どもの朝食離れが気になる。親子の食事の時間を大切にしたい。できるだけ子どもと向き合ってほしいです」と話すのは、えびの市食生活改善推進協議会の会長を務める迫田昭子さん(町区)です。

現在は16人の会員でさまざまなボランティア活動を行っています。食を通して地域づくりを行うために、主な活動として、毎月行う定例会のほか、男の腕まくり料理教室や小学校等での食育講座、産業文化祭での展示・試食などがあります。本紙の「えびののうま

かもん」コーナーでもご協力をいただいています。「料理教室はとても楽しいですよ。参加した皆さんの会話を聞いてみると、とても楽しく、自分も勉強になりました」と迫田さん。受講生からは「料理を作って妻に喜ばれた」、「積極的に料理を手伝う

ようになった」と、大変好評を得ています。同会の皆さんは、料理を通して、食の大切さや健康の大切さ、料理の楽しさを伝えていっています。しかし、悩みもあるそうです。「会員の数を増やしたいです。高齢化が進んでいるので、若い人もぜひ入って

もらいたいです」と迫田さん。同会では、会員を募集しています。詳しいことは、市健康保険課市民健康係(☎0984・35・1111)までお問い合わせください。迫田さんをはじめ、同会の皆さんは、とても笑顔が素敵で、元気な方たちばかりです。

家庭教育学級通信

のびのびと元気で明るい上江中!

(上江中学校家庭教育学級)



今年度はどんな活動をするか保護者の皆さんから活発な意見が飛び交いました。

皆さん、こんにちは。上江中学校家庭教育学級「白鳩学級」です。上江中学校では、保護者全員が学級生となり、さまざまな活動に取り組んでいます。平成21年度白鳩学級開級式を、市社会教育課の河野秀明先生をお迎えして行いました。その後、参加者全員で今年度の学習計画について、いろいろ案を出し合い、年間計画を決めました。

6月には保育園、小学校、中学校合同で人権学習会を行う予定です。7月には、視察研修を予定しており、宮崎県庁や知事公舎を見学して、綾町の酒泉の杜に行く予定です。できるだけ多くの学級生に参加していただき、楽しい研修になるといいなあと思っています。11月には、クリスマスに向けてのハーブリース作りを予定しており、どんな作品ができるかとても楽しみです。できた作品は文化祭に提出する予定です。

白鳩学級では、保護者の皆さんがいろんな意見を出すなどして、積極的に取り組んでくださるので、私も大変助けられています。今年度もまだ始まったばかりですが、一学級生として、楽しく充実した学級作りができればいいなあと思っています。



上江中学校家庭教育学級長 長濱和美さん
Kazumi Nagabama

まちづくりの条例市民研究会レポート

みんなでつくろう! えびの市の「憲法」

「まちづくり活動をしよう」という時に、「参画」とか「協働」などという言葉が聞かれます。「参画」、「協働」と言われ、何となく意味が分かるような、分からないような、ということも思っています。しかし、まちづくりという分野において、参画や協働という言葉は、案外重要な使われ方をしている場合が多いようです。それでは、研究会のメンバーがまちづくりを議論する時、「参画」と「協働」をどのように位置づけ、議論してきたのでしょうか。

研究会が作成した自治基本条例案は、次のような条文になっています。

第7章 参画と協働 (行政への参画)

第14条 市は、総合長期計画及びその他の行政施策の推進にあたっては、市民との協働の姿勢に立つものとする。

2 市は、総合長期計画及びその他の行政施策の企画立案にあたっては、市民の意見やアイデアを募り、意思決定に反映させるものとする。

3 市は、総合長期計画及びその他の行政施策の実施にあたっては、市民の積極的な参画と協働を保障しなければならない。

(行政評価と改善)

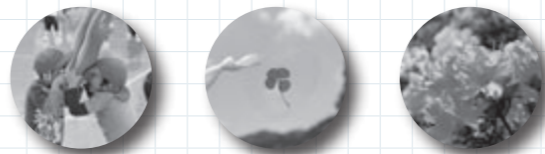
第15条 市は、市民参加による行政評価を実施し、常に市民本位の行政運営となるよう見直しと改善に努めるものとする。

ここでは、市が行政施策を推進する時は市民と協働するとしています。では、「協働」とはどのような

ことでしょうか。研究会が作成した自治基本条例案第3条では、協働について「市民と市がそれぞれに果たすべき役割と責務を自覚し、互いに協力し行動すること」と定義。つまり、「行政施策を市が一方向的に推進するのではなく、市民も役割と責務を自覚しながら、市と協力し合って推進するということを市も認識しましょう」という規定になっています。行政評価についても、「市民が参加した行政評価を実施して改善しましょう」ということが規定されています。このように、参画と協働の章では、市民が行政と深くかかわることについて規定しています。

まちのわだい

09'06 Ebino City Topics



市民約1万1千人が運動

チャレンジデー2009が、5月27日、市内各地で行われました。これは、住民の何%が運動やスポーツに参加したかを、人口規模が同じ自治体や地区で競うものです。この日は、市民約1万1千人が、それぞれ自分の体に合った運動やスポーツを楽しみました。加久藤地区体育館では、「いい汗加久藤クラブ」の皆さんの指導のもと、加久藤保育園、ふじ幼稚園の園児たちが3B体操に挑戦。「ベル」という道具を両手に持ち、曲に合わせて体操をしたり、かけっこをしたりして、とても楽しそうに体を動かしていました。



3B体操を楽しむ園児たち。

「おもてなしの心」高評価

JR肥薩線真幸駅で、地元農産物の販売や市のPR、環境美化活動を行う「真幸駅友の会」が、平成21年度宮崎県地域づくり奨励賞を受賞しました。これは、同会の地域と一体となった活動や、出て行く列車に対し、姿が見えなくなるまで手を振り続けて温かく見送るなど、「おもてなしの心」が高く評価され表彰されたものです。会長の上熊須康さん(加久藤麓区)は「光栄な賞をいただきました。西内堅区の皆さんの支えがあったからこそです。これを励みに、さらにがんばっていききたいですね」と喜びを話していました。



受賞を喜ぶ真幸駅友の会の皆さん。

「ふるさと散歩展」開催中

「広報えびのふるさと散歩展」が、7月12日まで、市歴史民俗資料館で行われています。「ふるさと散歩」は、市内に残る名所や旧跡、文化財などを紹介するコーナーで、広報えびのの裏表紙に毎月掲載。今号で128号目となりました。この「広報えびのふるさと散歩展」は、市民の皆さんにふるさとの良さと歴史をもう一度知ってもらうと、資料館ボランティアの方々の協力のもと、企画されたものです。広報紙で紹介できなかった写真も多数展示されています。ぜひお越しください。



7月12日まで開催中の「ふるさと散歩展」。

いろんなことを学びます

第9期長寿学園寿大学入学式が、5月22日、市文化センターで行われました。同大学では、高齢者が心豊かな生活が送れるように、約2年間、生活・教育・歴史・趣味工芸・健康など、幅広い分野で学習します。今回、第9期生として31人が入学しました。入学式で、堀井禮子さんは「この2年間での学習に、期待と不安がありますが、それ以上に多くの仲間との出会いを楽しみにしています。新たな人生のスタートと思いい、お互い励まし合いながら全員卒業できるよう努力したいと思います」とあいさつしました。



長寿学園寿大学第9期生の皆さん。

児童が真幸駅で花植え

真幸小学校の6年生40人が、5月29日、真幸駅で花植えを行いました。これは、地域に貢献する児童の育成と児童たちにふるさとの良さを知ってもらおうと行ったものです。この日、児童たちはマリゴーランドなどの苗を駅舎周辺に植栽。また、いさぶろう・しんぺい号で真幸駅を訪れた観光客に、えびの市を紹介する手作りのチラシや、同校で取った四葉のクローバーを配ってえびのをPRしました。児童の上村心さんは「ここに来た人が喜んでもらえるようにと願って植えました」と話していました。



植えた苗に「大きくなってね」と水をかける児童。

救助の技で全国大会へ

第27回宮崎県消防救助技術指導会が、5月21日宮崎市で開催され、えびの消防署の後藤チーム(選手 後藤政樹、若松洋平、黒木雄大)が、ほふく救出の部で、見事、全国大会への切符を手に入れました。これは、各消防本部の救助隊員が訓練成果を競い合うもので、三人一組で救助にかかる時間や安全性、器具の取扱いが審査されます。5月25日、全国大会への出場報告に市長を訪れた皆さんは、「全国大会でもいい結果が残せるようにがんばってきます」と話していました。全国大会は、8月20日に横浜市で開催されます。



全国大会での皆さんの活躍を期待しています。

高齢者宅の水周りを点検

えびの市管工事協同組合(12社加盟)が、6月5日、高齢者宅の水道点検をボランティアで実施しました。これは、水道週間に合わせて、毎年実施しているものです。水道週間は、水の大切さや水が使えることの大切さを改めて考えてもらうと定められたものです。今年有加久藤地区の高齢者宅を訪問。同組合の皆さんは、水漏れ箇所や蛇口の点検などを行いました。点検を受けた浅川幸子さん(前松原区)は「水漏れが少しして、ずっと気になっていました。水周りを点検してもらい、安心しました」と話していました。



「安心しました」と高齢者の皆さんは喜んでいました。

information

お知らせ コーナー

・お知らせ・

老人福祉センター 7月1日から再開

真幸地区にある老人福祉センターは、4月から改修工事を行っていましたが、改修工事も無事終わり、平成21年7月1日(水)から利用できるようになります。

■お問い合わせ先
市長寿介護課高齢者係
(内線 268)

経済センサスへのご 協力をお願いします



7月1日、平成21年経済センサス基礎調査が全国一斉に行われます。全国すべての事業所および企業が調査の対象となります。調査の結果は、国や地方自治体などが地域開発や都市計画など、私たちの生活をより良くするために必要な基礎資料となります。

調査方法は、6月下旬から県知事が任命した調査員が伺い、直接調査票を配布・回収する方法が主となります。調査票が届いたら必ず受け取り、もれなく記入してください。記入していただいた内容を他に漏らしたり、統計法に規定された目的以外に使用したりすることは法律で固く禁じられています。安心してご協力をお願いします。

■お問い合わせ先
市企画課計画係
(内線 321・322)

生活資金等を低利子 で融資する制度です

県では、勤労者の生活の安定と福祉の向上を図るため、「宮崎県中小企業勤労者ハッピーライフ資金融資制度」を設けています。県内にお住まいの中小企業で働く方々へ、九州労働金庫を窓口として、生活資金などを低利子で融資する制度です。種類は、教育資金、生活資金、育児介護休業資金などです。

【申込期限】平成22年3月31日(水) ※融資枠がありますので早めに申し込みください。

■お問い合わせ先
九州労働金庫宮崎県本部ローンセンター宮崎

☎ 0120 - 60 - 2081

ワーキング・ホリデー の説明会を開催します

(財)宮崎県国際交流協会では、下記のとおりワーキング・ホリデー説明会を開催します。

【開催日時】平成21年7月4日(土)午後2時~午後4時
【会場】カリーノ宮崎8階多目的室(宮崎市) ※参加無料

【対象】18歳~30歳の方(定員50人) ※先着順

【申込方法】電話・FAXまたはE-mailで、氏名、連絡先、渡航希望国、知りたい情報をお知らせください。

■申込み・お問い合わせ先
(財)宮崎県国際交流協会

☎ 0985 - 32 - 8457

FAX0985 - 32 - 8512

E-mail = miyainfo@mif.or.jp

市役所だより6月5日 号に誤りがありました

6月5日発行の回覧文書「えびの市役所だより(No.994)」の①行事予定表7月8日(水)の欄に「第1回地域福祉推進会議(上江地区)」とありますが、8日(水)ではなく、9日(木)

でした。ここでおわび申し上げ訂正させていただきます。

・募集・

食生活改善推進員養成講習会受講者募集

市では、食生活改善を中心とした総合的な健康づくりを習得し、地域のヘルスサポーターとして活動していただく食生活改善推進員の養成講習会を開催します。食を通じた健康づくり・仲間づくり・生きがいづくりに興味のある方、食生活改善推進員になって食のボランティアとして活動してみませんか。

【内容】栄養を中心とした健康づくりに関する講義・調理実習を年8回程度(最低20時間)

【受講期間】平成21年7月~平成22年2月(後日、受講者には日程表を郵送します)

【会場】市保健センターほか
【対象】原則として全日程に参加できるえびの市民。養成講習会終了後、えびの市食生活改善推進協議会に入会し、ボランティアとして活動ができる方。

【受講料】無料※ただし、講習に必要な教材・材料代(2,000円程度)は自己負担となります。

【定員】15人(定員になり次第締め切ります)

【申込方法】平成21年7月3日(金)までに市保健センターへ電話で申し込んでください。

■申込み・お問い合わせ先
市保健センター(午前9時~午後4時30分)

☎ 0984 - 35 - 2446

サマーナイトパー ティー参加者募集

えびの市次世代を支援する会では、30歳以上の独身社会人の方を対象に、サマーナイトパーティーを開催します。

【開催日時】平成21年8月2

日(日)午後6時受付開始
【会場】グリーンパークえびの
【定員】男性15人(えびの市在住者)、女性15人

【参加料】男性1,500円、女性1,000円

【申込方法】住所、氏名、年齢、電話番号、電子メールアドレスを記入し、FAXか電子メールで下記に送信してください。

■申込み・お問い合わせ先
市福祉事務所子育て支援係(内線 269)

FAX0984 - 35 - 0401

E-mail = fukushi@city.ebino.lg.jp

家事援助リーダー会員 養成研修の受講生募集

(社)宮崎県シルバー人材センター連合会では、下記のとおり家事援助リーダー会員養成研修の受講生を募集します。

【内容】介護に関する知識と方法、医学の基礎知識、家事援助の方法、調理実習など

【受講料】無料

【募集定員】20人

【対象】おおむね60歳代前半の方(応募多数の場合は抽選)

【会場】(社)小林市シルバー人材センター

【申込期限】平成21年7月10日(金)

■申込み・お問い合わせ先
(社)えびの市シルバー人材センター ☎ 0984 - 25 - 3411

・相談・

育児や教育に悩みを お持ちの方のために

育児や教育について心配や悩みをお持ちの方々のために、医療・福祉・教育の専門の先生方による教育相談を実施します。相談を希望される場合は、必ず申込みをしてください。

【相談日】平成21年8月10日(月)

【会場】市文化センター

【相談内容】家庭での子どもの育て方について、子どもに必要な医療について、障がいのある子どもの教育について、その他

【申込方法】平成21年7月31

日(金)までに市教育委員会まで直接申し込むか、電話で申し込んでください。申し込んだ方には相談票を送付のうえ、相談時間等について連絡します。 ※相談は無料で、相談上の秘密は厳守します。 ※できるだけお子さんと一緒においでください。

■申込み・お問い合わせ先
市学校教育課(内線 413)

求職者の生活安定と再 就職の促進を図ります

求職者の生活の安定と再就職の促進を図るため、4月に宮崎県求職者総合支援センターを開設しましたが、5月から「出張相談」を実施していますので、ご利用ください。

【都城会場】県都城総合庁舎1階会議室

【開所日】毎月第4月曜日の午前10時から午後4時まで(正午から午後1時を除きます)

■お問い合わせ先
宮崎県求職者総合支援センター ☎ 0985 - 60 - 7410

119 だより



夏は水の事故だけではなく!

えびの市には、えびの高原や霧島連山があり、最近ではアウトドアブームということで、休日には登山やハイキングを楽しむ方もたくさんいるのではないかと思います。しかし、毎年、山での事故が発生しています。気軽に楽しむことができる登山(ハイキング)ですが、山をあなごらず、事前準備と慎重な行動で楽しみましょう。

—山岳(ハイキング)事故防止のために—

- ◎スケジュールに余裕を持ち、日没前に下山する。
- ◎体力に見合ったコースを選ぶ。
- ◎動きやすく安全な服を着る。
- ◎単独行動での計画は避ける。
- ◎家族などに行き先を告げる。
- ◎最寄りの警察署に登山計画書を提出する。

5月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	0件	年計	8件
	救急	74件	年計	319件

■えびの消防署 ☎ 0984 - 33 - 6119

110 だより



地域交通安全活動推進委員について

地域における交通安全と円滑を図るための活動を行う民間ボランティアとして、地域交通安全活動推進委員の方々がいます。委員の皆さんは、えびの市内の各地域において、交通安全に関する広報啓発、協力要請、相談、協力援助などの活動を行います。

宮崎県公安委員会から委員として委嘱を受けたのは、次の6人の方々です。任期は2年間です。

- ◎岡村勝繁氏(飯野麓区)
- ◎丸田重徳氏(東川北区)
- ◎森本林氏(中原田区)
- ◎大脇光雄氏(南原田区)
- ◎山元四男氏(北岡松区)
- ◎江平順一氏(大溝原区)

5月の交通事故 発生状況	人身	5件	年計	49件
	物件	27件	年計	110件

■えびの警察署 ☎ 0984 - 33 - 0110

心の一首一句

短歌

週二回通所で癒さるさくら苑

喜怒哀楽を語りふれあう

栗下区 長谷タツエ

週二回デイケアに通う作者は、介護士の方、ともに集うお友達とのさまざまな会話に癒され、感謝している。その心を受け取ることのできる人柄の良さが表れた詠である。人は歳を重ねつつ、毎日丁寧な無理せず、がんばらず、人の助けを受けて生きていきたいものである。
(評 竹下妙子)

俳句

味付けは流るる景色鮎弁当

白鳥区 松山夢真

人吉名物鮎弁当に舌鼓。過ぎ行く景色が弁当の味を引き立てる。
(自註)

詩

カトレア

中島区 山下常昌

殆どほったらかしの

カトレアが二輪吠いた

晴れの場所へ移してやった

風にゆれるカトレア

誇らしげに

とまどいながら

それでも

生命のことを考えさせた

あなたもつくってみませんか。

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056

(俳句) 阿野文雄さん ☎ 0984 - 37 - 1653

(詩) ポエム同好会 (市田寛幸さん) ☎ 0984 - 37 - 2528 まで。

ありますか、好きだと言える一冊が。

おすすめの 一冊



『青い鳥』

重松清 / 著
(新潮社)

「先生は、一人ぼっちのそばにいる。もう一人の一人ぼっちになりたいんだ」。村内先生は、中学の臨時教師。言葉がつかえて、うまくしゃべれない。でも、本当に「大切なこと」を教えてくれる。村内先生が伝える本気の言葉は、心の悩みや苦しみを抱えている子どもたちを癒していきます。多くの方に読んでもらいたい感動の一冊です。

BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

Editor's

◎編集後記

先日、再度韓国岳登山に挑戦してきました。今回は、ミヤマキリシマを韓国岳頂上で撮影しようと思い、カメラを2台担いで登りました。この日は快晴で、頂上もこの上ない天気。「今日はいい写真が撮れそうだ」とわくわくしてカメラを向けると、そこらじゅうに咲いているはずのミヤマキリシマがいまひとつ。1週間ほど早かったようです。しかし、硫黄山の辺りは満開状態でミヤマキリシマの鮮やかな色に見入ってしまいました。つつじヶ丘でも撮影し、市の公式ホームページのフォトギャラリーに投稿しましたので、よかったですら見てみてください。(補元)

◎えびの市の人口

男性 / 10,422 人 (- 10 人) 転入 / 38 人
女性 / 11,590 人 (- 20 人) 転出 / 48 人
合計 / 22,012 人 (- 30 人) 出生 / 5 人

◎えびの市の世帯数

9,357 世帯 (- 7 世帯) 死亡 / 25 人

(平成 21 年 6 月 1 日現在)

今月の納税

市県民税 第 1 期

6 月 30 日までに納めましょう。



いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!

今年も特定健診が始まりました

■中原栄養士 (健康保険課)

昨年度から市で実施している特定健診は、国民健康保険加入者 40 歳～74 歳 (75 歳誕生日前日まで) を対象に行われています。平成 20 年度の受診率は 13.8% (平成 20 年度の目標 25%) と低いものとなりました。中でも、40 歳～50 歳代の方の受診率が低くなっています。「若いから大丈夫! 元気だから大丈夫!」、「どこも悪くない、痛くない」という方も、今年も特定健診を受けて自分の体の状態を点検してみましょう。

健康診査はなぜ受けるの? 健診は病気を見つけるものという印象がありますが、自分の体の中の状態を知り、病気を予防するためのものでもあります。健診結果が悪くても、早期であれば生活習慣を見直すだけでよく、もし治療が必要な場合でも病院に通う回数、治療費、薬代等が少なくて済みます。昨年受診した方の中からは、「病院に行くのは嫌だったが健診を受けてよかった」、「自分の体の状態が分かってよかった」などの感想をいただきました。私たちの血管は体と同様に老化していきます。血管の老化 (健康状態) は、健診を受けないと知ることができません。また、毎年受

け続けることで、自分の体の中の変化 (血管の変化) を知ることができます。年に一回は体の状態を点検するために健診を受けましょう。

対象の方に受診券を送りました 対象となる方に、受診券 (写真参照) を送りましたので、受診券と国民健康保険証を持参のうえ、実施医療機関 (受診券と同封の用紙に記載) で受診してください。受診期限は平成 22 年 1 月末 (74 歳の方は 75 歳誕生日前日) までです。

※自己負担金等は受診券に記載していますので、ご確認ください。

◎人間ドック等、個人で受診した健診結果を市健康保険課に提出していただければ、特定健診を受診したことになります。

◎後期高齢者医療保険証をお持ちの方は「長寿健康診査」、国保中途加入者の方は「健康診査」となります。これ以外の方は自分の加入している医療保険者にお問い合わせください。

特定健康診査受診券



男女共同参画だより

が輝ける社会へー

・講師=戸島信一氏 (宮崎大学教育文化学部教授)

◎分科会

①男の分科会～メンズカフェ～ (先着 30 人※ 男性対象)

②CAPおとなワークショップ～子どもの心に寄り添うために～ (先着 30 人)

③親子で楽しむおやつづくり (先着 30 人)

また、展示コーナーを設置し、男女共同参画啓発カルタ展や各種団体活動紹介なども行います。※無料託児所も和室に常設しますので、お気軽にご利用ください。

※講演・分科会参加者は、市企画課振興係に事前電話で申込みをお願いします。

☎ 0984 - 35 - 1111 (内線 323・325)

『男女共同参画フォーラム in えびの』

市と 2009 男女共同参画フォーラム in えびのの実行委員会では、男女が互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けて、市内各団体と連携・協力しながら「2009 男女共同参画フォーラム in えびの」を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

【開催日時】平成 21 年 7 月 5 日 (日)
午後 1 時～午後 4 時 30 分

【会場】市文化センター

【内容】◎オープニング～J A えびの女性部による大正琴の演奏

◎基調講演

・演題=「男女共同参画社会への道—老若男女

ふるさと散歩

Furusato-sanpo

128

伊東霊堂と伊東どんの祭



星指義文宅で大切に保存されている伊東霊堂。

伊 東軍・島津軍の合戦から四三七年が経過しました。

今年も例年どおり、五月四日に木崎原合戦供養祭が、池島地区の古戦場史跡公園で厳かに開催されました。五月三日の前夜祭に始まり、五月四日は伊東家・島津家のゆかりの方々も参加され、地区民との交流も深まりました。

昔、藩政時代の各藩においては自由に入りができませんでした。日向の国伊東藩の末孫たちは、戦死した祖先の墓参りをしたくても真幸院飯野郷まで出て行くことは困難だったため、山法師姿で墓参りに訪れたといわれています。明治二三年四月、飢肥（日南市）

から突然、伊東家の末孫の人たちが数人訪れました。当時の組長（区長）の案内で供養塔や首塚に香花（線香と花）を供え、供養しました。

これまで大切に守ってきた地区民の方々に心から感謝の意を述べ、「遠路のため墓参りも思うようできませんので戦死家族に代わって今後も香花をお願いします」と、金一封を組長に渡しました。

後日、組長は地区民と協議し、伊東霊堂を作製することを決め、御霊を祭ることになりました。霊堂の作製は、有島神社（ハットドンきとんの宮）の祈禱師福島八蔵氏に依頼し、霊堂の中には銅製の御神体が祭られました。

明治二三年旧五月五日、第一番座が星指長市氏宅で開かれ、一年ずつ、回り霊堂を預かった家でその年の例祭を行うことが決められました。恒例の五月五月には、供養塔や首塚を清掃し、しめやかに供養祭を行い、家族ぐるみの祭りを「伊東どんの祭り」として伝承してきました。

昭和二六年に六二年間続いた「伊東どんの祭り」は中止になったものの、近年では、五月四日の木崎原合戦供養祭に伊東霊堂を祭り、厳かに供養が行われています。地区民の方々も先人の伝承を守り、大切に保存しています。

（文／歴史民俗資料館・麦田勝）



第22回全国スポーツ・レクリエーション祭
スポレクなびわく2009
永山運動公園（ターゲット・バードゴルフ会場）
平成21年10月18日（日）～19日（月）



PRINTED WITH
SOY INK™

広報えびのは環境にやさしい大豆油
インキを使用しています。

広報えびの6月号
2009.6.20 / No.512

発行／えびの市役所 編集／企画課情報係
〒889-4292 宮崎県えびの市大字栗下1292番地
TEL:0984-35-1111 FAX:0984-35-0401

（ホームページアドレス）<http://www.city.ebino.lg.jp/>
（携帯サイトアドレス）<http://www.city.ebino.lg.jp/mobie/>
（メールアドレス）info@city.ebino.lg.jp

△ 非核平和のまちえびの市